

## ■ 会社概要 (平成26年3月31日現在)

Corporate data

■所在地 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号

■設立 昭和52年5月6日

■株式の状況

1 発行可能株式総数	40,000,000株
2 発行済株式の総数	22,459,300株
3 株主数	5,720名
4 大株主の状況(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
エー・アンド・デイ従業員持株会	1,687千株	7.90%
(株)フルカワ	1,533	7.18
(株)デンソー	1,122	5.25
ピーエイチ ファーフィデリティ ロープライズ ストック フアンド	862	4.04
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	730	3.42
(株)埼玉りそな銀行	606	2.84
(株)足利銀行	490	2.29
古川陽	350	1.64
森義晴	275	1.29
ジェーピー モルガン チェース バンク 385181	270	1.26

(注) 1. 自己株式(1,091,247株)は除いて記載しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■従業員 704名

■資本金 6,388,551,300円

5 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び 医用医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル 及び電子式台秤の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、 製造、販売
シーエム精機株式会社	50,000千円	90.0%	ウェイトチェッカ、 金属検出機の製造、販売
株式会社MBS	495,000千円	50.0%	自動車計測に関するエンジニ アリングサービスの提供
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売(米国)
愛安徳電子(深圳)有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び 計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露ループル	100.0%	当社製品の販売(ロシア)

# 第37期 報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日

**A&D** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

東京証券取引所市場第一部上場 証券コード：7745

## A&D Topics A&Dトピックス

### ■ Topics 1

#### 新製品～電動マイクロピペット MPAシリーズ

当社は「A/D(アナログ/デジタル)変換技術」を根幹に、「はかる」を事業領域として様々な計測・計量・メディカル機器等を提供しておりますが、その中で計測・計量機器事業におきましては、最小で100万分の1g単位の高精度・高分解能の電子天びんを販売しており、その高精度の電子天びんを応用した「ピペット容量テスター」、「ピペットリークテスター」の販売にあたっては、ピペットユーザーを対象としたセミナーを行い、ピペットの精度チェックの必要性について訴えてまいりました。

その中で、マイクロピペットユーザーより「電動式ピペットは確かに便利だが、従来品は①重い②壊れやすい③設定が面倒④高すぎる等の理由で購入が難しい」といった意見を頂いたことから、これらの課題を解決した製品により、使用時の肉体的な負担を減らし、作業効率を向上させてあげたいという思いから本商品の開発、販売に至りました。

##### 【製品の特長】

- (1)「質量(mg)モード」により、「液体」と「固体の試料」の混合作業が容易に(日本初・特許申請中)
- (2)「ユーザーCAL(校正)機能」により、いつでも正確な容量の注入が可能(特許申請中)
- (3)連続5時間3,000回作業しても疲労を感じない低重心設計
- (4)手動式ピペットユーザーの買い替え需要を強く意識した低価格設定

マイクロ天秤をはじめとする製薬・理化学市場向け製品シリーズの一つとして、同市場への一層の浸透および売上拡大を目指します。



電動マイクロピペット MPAシリーズ



ピペットと容量テスターAD-4212B-PT

### ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。

今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

<http://www.aandd.co.jp/>



### 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月下旬

株主確定基準日 3月31日  
その他必要があるときは、予め公告いたします。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL <http://www.aandd.co.jp/>

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

#### <郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店	
未払配当金の支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	
		単元未満の買取以外の株式売買はできません。

### ■ Topics 2

#### 大型機械試作組立工場の新設

当社は近年の自動車および同部品メーカーを中心とするお客様からの大型特殊試験機の受注増加に対応するため、埼玉県鴻巣市に延床面積1,394㎡の大型機械の試作組立工場を新築いたしました。当面の案件といたしましては、大型タイヤベルト試験機、タイヤドラム試験機等の製作を予定しております。当社が長年培ってきたセンサー技術とDSP技術(高速デジタル信号処理技術)の融合により、今後も高性能かつユニークな試験機の開発・販売に邁進いたします。



新工場外観



工場内



大型タイヤベルト試験機



タイヤドラム試験機製作現場

## 株主の皆様へ

To our shareholders

第37期（平成26年3月期）決算をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。  
当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては、金融・財政政策を背景とした円安、株高、低金利の傾向を持続すると共に、大企業を中心に企業収益の改善の兆しが見られ、従前よりさらに進んだ景況感の改善が見られるようになりました。米国では雇用状況の改善、個人消費の緩やかな伸びや住宅投資の堅調な推移などにより、景気回復が緩やかに続き、欧州では、一時の低迷から脱しつつあるなど緩やかな回復の兆しが見られました。一方、中国及び新興国経済は、拡大基調となっているものの、減速が懸念されるほか、ウクライナ情勢等の緊迫化が懸念されております。わが国経済においても、円安の恩恵は輸出量の増加ではなく売上高の増加をもたらすにとどまっておらず、更に、消費税引き上げ前の駆け込み需要は見られたものの、その先の景気の腰折れが懸念されるなど、いまだ不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、お客様や社会における多様なニーズやその変化、そして技術革新に、迅速かつ的確に対応すべく基盤技術の研磨に努めると共に更なる応用技術力の強化を図り、積極的に新製品開発、市場開拓、ブランド力の向上を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は37,824百万円（前連結会計年度比10.2%増）、営業利益は1,439百万円（前連結会計年度比10.0%増）、経常利益は1,023百万円（前連結会計年度比0.5%減）、当期純利益は1,212百万円（前連結会計年度比34.3%増）となりました。

以上の業績結果を踏まえ、株主の皆様への期末配当金につきましては1株につき7円、中間配当金を含めた当期の配当金は1株につき9円といたしました。

今後におきましては、日本国内では消費税増税の影響が懸念されるほか、長期にわたった円高、デフレ環境のもとで輸出企業の海外移転が進んだことで、円安による企業業績の効果が限定されることに加え、企業業績の拡大が必ずしも国内投資に繋がらないことで、景気の動向は一層の不透明感が残ることが懸念されます。また、米国や欧州では引き続き緩やかな景気回復が見込まれる一方、新興国経済の先行きや、政治情勢にも不透明感が残ることが予想されます。

このように当社をとりまく環境は依然として厳しい状況が続くと思われませんが、当社グループでは、更なる技術研鑽と新規市場の開拓、新規顧客の獲得に尽力すると共に、試験機やシステム品等の製品の標準化や海外生産の強化によって、一層の原価低減に努めてまいります。また、より効果的な研究開発投資を進めていくと共に、販売費及び一般管理費の効率的な活用に努め、グループを挙げて業績向上に邁進する所存であります。

まず計測・計量機器事業は、DSPシステムにおきましては、計測器・試験機メーカーである当社が提唱する自動車開発コンセプト「MBSim（Model based simulation）」を自動車業界に対し引き続き提案してまいります。当連結会計年度に設立した株式会社MBSでは、DSPシステムのツールを活かし、MBSimのコンセプトに沿った試験の受託、及びコンサルティングを行っていただくことで、DSPシステム製品の拡充と、自動車開発支援ツールメーカーとしての地位確立を目指してまいります。

計量器におきましては、DSP技術を用いたシステム製品の受注獲得に注力すると共に、精密天秤によって参入した理化学市場向けの新製品を開発・投入し、販売強化を進めてまいります。また、ウェイトチェッカ及び金属検出機については、海外市場への展開も視野に、販売、生産に一層注力するほか、この分野での更なる技術開発と製品の拡充を図ってまいります。

一方、医療・健康機器事業は、医療用の計量器や血圧計、家庭向けの健康機器に通信機能を付加することで、遠隔医療や在宅医療といった医療ICT（Information communication technology：情報通信技術）向けの機器を拡充していくほか、健康管理サービスと連携した製品を提案・拡充してまいります。

健康機器では、高度医療から在宅医療、検診向けに使われている製品技術を、家庭向けに展開している強みを背景に、日本・米州・欧州のみならず、中国並びに新興国も含めた各家庭で求められる製品を拡充し、市場開拓に努めてまいります。

生産面では、中国現地法人での生産において、人民元高及び人件費等コスト増に対応するため自動化や外部委託を活用していくほか、適切なリスクの管理と生産最適化を図ってまいります。

これらの施策によって、通期業績見通しは連結売上高41,200百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,700百万円、当期純利益1,000百万円を予定しております。

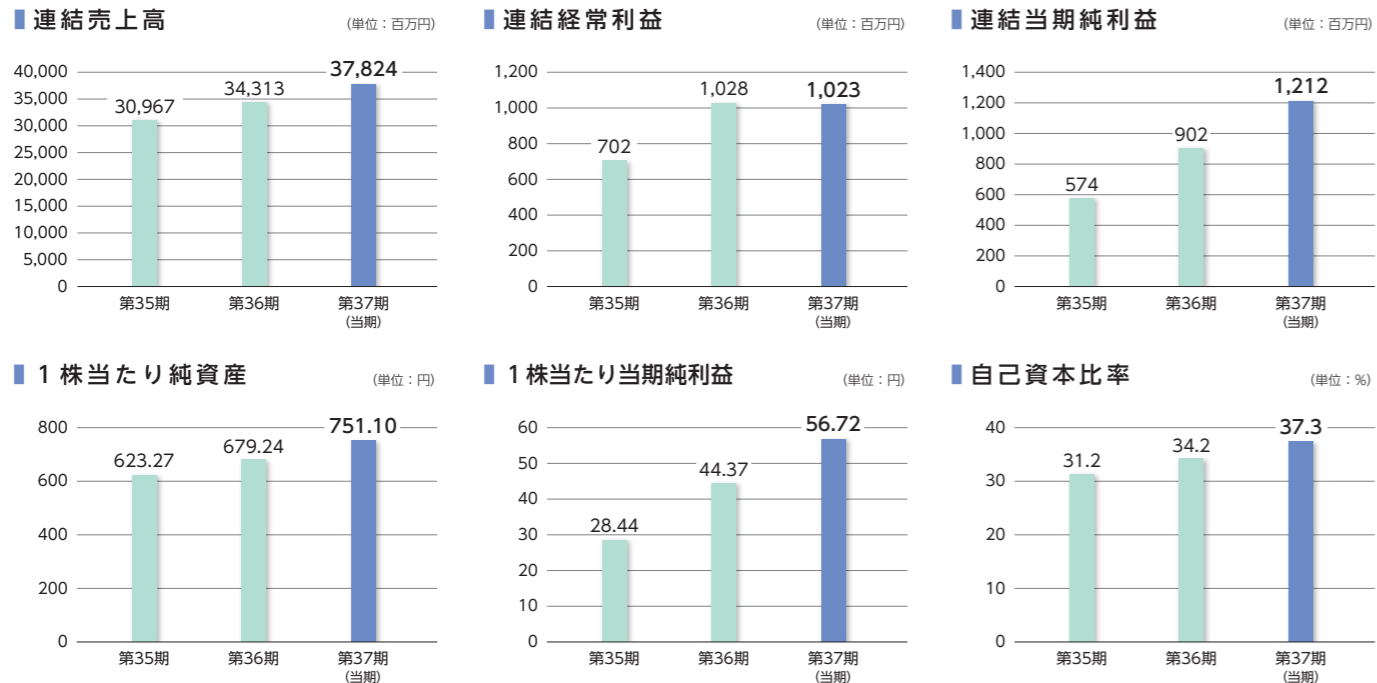
株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
執行役員社長 古川 陽

## 財務ハイライト

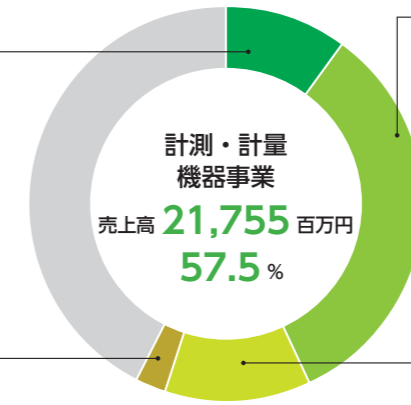
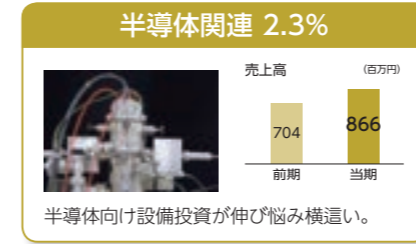
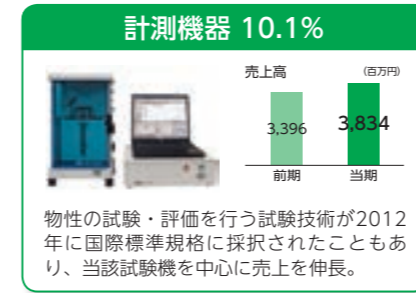
Financial highlights



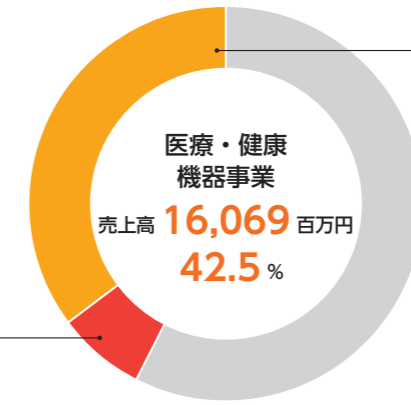
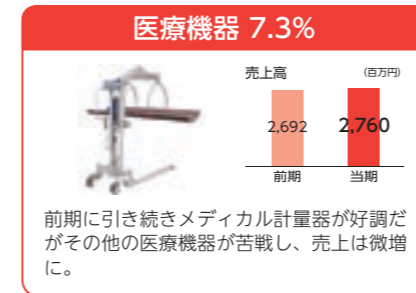
## 営業の概況

Result of business

### 計測・計量機器事業



### 医療・健康機器事業



## 連結財務データ

Consolidated financial data

